

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(平成29年度)

【様式1】

施設名	県立農業大学校農業総合研修センター及び宮崎県農業科学公園
指定管理者	学校法人宮崎総合学院
指定期間	平成27年4月1日から平成30年3月31日(3年間)
県所管部課	農政水産部農業経営支援課農業担い手対策室

1 施設利用状況

指標	H29	H28	H27	増減理由等
研修実績(延べ人数)	20,716	18,311	17,819	指定管理導入による研修内容の充実により、研修実績は増加しているが、宿泊者数はH28年度利用団体が、H29年度には他施設を利用したことなどから減少した。また、積極的なイベントの開催等を行っているものの、平成29年度8月から9月に相次いだ週末の台風の影響等により、農業科学公園入園者数、農業科学公園入館者数ともに減少している。
研修宿泊者数(延べ人数)	1,644	1,825	1,461	
農業科学公園入園者数	178,491	227,802	211,220	
農業科学館入館者数	32,013	36,880	34,338	
コメント	研修内容の充実により、利用者は年々増加している。一方、入園者等は天候の影響等により減少したものの、公園入園者等の利用を促進するイベント等を積極的に開催していることは評価できる。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	H29	H28	H27	支出	H29	H28	H27
指定管理料	63,271	63,271	63,271	人件費	44,945	43,695	44,955
利用料金	1,141	1,414	1,079	光熱水費	10,907	10,594	9,672
生産物売払収入	18,664	19,094	16,332	事務費	11,881	13,933	13,000
その他収入	47	41	12	その他	14,844	15,402	12,971
合計(①)	83,123	83,820	80,694	合計(②)	82,577	83,624	80,598
収支差額(①-②)	546	196	96				
コメント	効率的な運用や費用の削減努力により、安定的な運営を行っており、評価できる。						

3 管理運営状況

※下線部分は、平成29年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	研修センター事務室の日常清掃及び年1回の床面ワックスがけ、農業科学館・管理棟・ふれあい館・物産館・フラワーハウスの床面及び窓ガラス清掃、農業科学館雨樋清掃、ウォーターランド日常点検等
	保守・点検	浴槽水質検査(年3回)、貯湯槽(年1回)、重油地下貯蔵タンク(年1回)、公園の除草・芝刈り(随時)、高木の枝剪定(3年サイクル)、ビニールハウス自動開閉装置動作点検(年1回)、環境制御システム動作確認(年1回)、ハウス用加湿機動作確認等(年1回)、ウォーターランド水質管理(随時)等
	警備	(県立農業大学校による警備)
	修繕	冷蔵庫、加温機、トラクター、公用車、トイレ、洗面蛇口等
	備品等管理	備品等修繕(随時)
	安全対策	危機管理マニュアルの整備、消防訓練の実施、土日祝日の公園職員複数勤務体制、公園遊具点検(年1回)、AED訓練
	その他	公園全体の植栽管理(芝生、花壇、樹木等)
企画運営業務	サービス提供体制整備	利用者アンケート(24回)、農業総合研修センターの休日利用や農業体験休日受入への対応
	イベント等ソフト面充実	主催研修・イベントの充実(ハロウィン・カボチャ祭の新規開催(H28~))、ホームページによるPR、農業科学公園ルピナス通信発行等
	施設設備等ハード面充実	県によるみやざき農業実践塾ハウスを4棟増設(H27)、指定管理者による未利用地の解消とその有効活用
	その他	—
管理運営体制	緊急連絡網の整備	
コメント	みやざき農業実践塾の運営等、精力的に取り組んでおり、就農者確保の実績を上げている。また、公園の植栽についても、季節ごとに適切に管理がなされている。一方で、浴室の貯湯槽の水質検査において、保健所への報告漏れ案件があったことから、公表等を行うとともに、今後の適切な業務遂行について指導を行った。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート調査(リカレント研修受講者に7回実施(回答106人)、宿泊利用者に17回(回答162名))	
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等	
口蹄疫メモリアルセンターの中学生の作文に感動した。	今後も農業科学館の充実した展示に努める。	
冷蔵庫があると良い。	利用者の要望に応じて製氷水を提供しているが、冷蔵庫の設置については、検討課題である。	

5 総合評価

評価コメント	指定管理3年目であり、安定的な運営がなされ、また、農業の普及啓発、新規就農者の育成も精力的に行っている。一方で、法令等での定めのある報告に漏れがあったことから、今後の改善が必要である。
今後の課題と対応	施設や農業用機械等の老朽化について、今後改善を図っていく必要がある。また、法令等に基づき行う業務について、再確認を行う必要がある。